土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　二級河川二河川水系椎川支川外砂防工事に伴う全体計画書作成業務

事　業　・　工　事　名

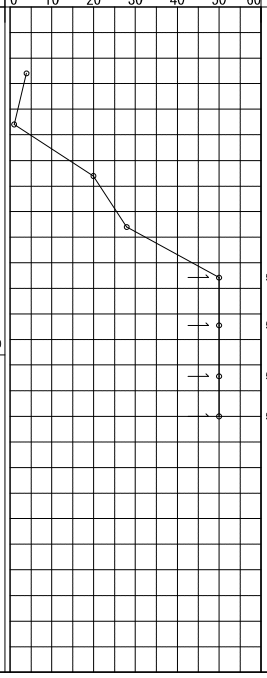
調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	R2-BK2-4	調査位置	広島県安芸郡熊野町　地内	北緯	34° 21’ 16.7438″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 1月29日～ 令和3年 2月 3日	東経	132° 35’ 06.1767″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 277.96m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
総削孔長	8.00m	地盤勾配	5° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　DO-C型
				エンジン	ヤンマー　NF-110EK型
				ポンプ	東邦地下工機　BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	277.36	0.60		砂質土		暗褐	rd2		現世土石流堆積物及び旧耕土 ・基質支持の掃流状を呈す ・砂は細-中粒砂、細粒分及び細礫を伴う ・GL-0.40-0.60m間、暗褐の旧耕土	
1				砂質土		褐灰	rd1		崩積土 ・GL-2.00m付近より全量逸水 ・砂は細-中粒砂、細粒分及び細礫を伴う ・上位は、細粒分やや優勢で土柱状を呈す ・下部に従い級化し粒径粗粒化する	
2	275.16	2.80								
3				礫混り砂質土		黄褐	rd3		土石流堆積物(完新世新期崩壊堆積物) ・礫はφ20mm程度以下の中-粗礫が混入、クサリレキを伴う ・基質は細粒分を伴う粒度不均一な砂質土	
4	273.16	4.80								
5				花崗閃緑岩		淡灰			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩(DH) ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存 ・採取試料は土柱状を呈すが脆く、掌で容易に圧潰可能 ・GL-7.90m付近より急激に硬質化し、CL級に分級される	2/3 6.80
6										
7										
8	269.96	8.00								
9										
10										
11										
12										
13										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
4	1.15	1	1	2	4/300		
	1.45						
1	2.15	0/200	1		1/300		
	2.45						
20	3.15	1	11	8	20/300		
	3.45						
28	4.15	11	11	6	28/300		
	4.45						
50以上	5.15	12	16	22/80	50/280	280	
	5.43						
50以上	6.15	26	24/50		50/150	150	
	6.30						
50以上	7.15	28	22/30		50/130	130	
	7.28						
50以上	8.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				2/1
				2/2